

第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上事業

スポーツ課

1 事業目的

国民体育（スポーツ）大会等全国大会や世界で活躍が期待される県内選手の育成・強化、指導者の養成及び練習環境の整備等により競技力の向上を図る。特に令和10年（2028年）に開催する国スポに向けては、天皇杯・皇后杯の獲得と、大会終了後の持続可能な本県の競技スポーツの振興を目指す。

2 事業内容

（1）国スポ強化対策事業 292,367千円 [R3当初:211,867千円]

- ア **拡** 選手育成事業（競技団体への補助）191,000千円（定額） [R3当初:150,000千円]
競技団体が行う選手育成、指導者養成、競技用具購入等を支援する。
- イ マルチサポート（県スポ協への補助） 6,613千円（定額） [R3当初:6,006千円]
国体及び強化合宿等へドクターやトレーナー等を派遣し、コンディショニング調整を行う。
- ウ 馬匹管理（県スポ協への補助） 1,920千円（定額） [R3当初:1,920千円]
県スポ協所有の県有馬2頭の飼料代、装蹄費、管理費等を支援する。
- エ **拡** 競技力向上対策本部事業（対策本部への負担金）92,834千円（定額） [R3当初:53,941千円]
競技力向上対策本部において、令和10年（2028年）国スポに向けた競技力向上事業を実施する。
- ①対策本部の運営（会議費等）
 - ②ジュニア選手の発掘・育成（ジュニア選手発掘・育成事業等）
 - ③指導者の養成（中央研修会への派遣、公認指導者資格の取得促進）
 - ④特殊競技用具の整備（高額特殊用具）
 - ⑤スポーツ活動拠点の構築（競技団体と地域をつなぐ活動拠点の構築と体験会の実施）
 - ⑥医科学ネットワークの構築（医科学関係者のネットワークを構築し、競技団体を支援）
 - 新** ⑦ジュニア強化拠点クラブ指定事業（有力選手が所属するクラブの日常的な強化を支援）

（2）世界の舞台で活躍する選手の発掘・育成事業 7,633千円 [R3当初:8,133千円]

- ア オリンピアン育成支援（競技団体への補助）3,633千円（定額） [R3当初:3,633千円]
オリンピック等で活躍が期待できる選手の海外合宿や強化練習会等への参加を支援する。
- イ SWANプロジェクト（県スポ協への負担金）4,000千円（定額） [R3当初:4,500千円]
冬季オリンピックのメダリストになりうる資質を有する小学生等を発掘・育成する。

3 予算案 300,000千円（ふるさと信州寄附金基金:1,855千円、一般財源:298,145千円）

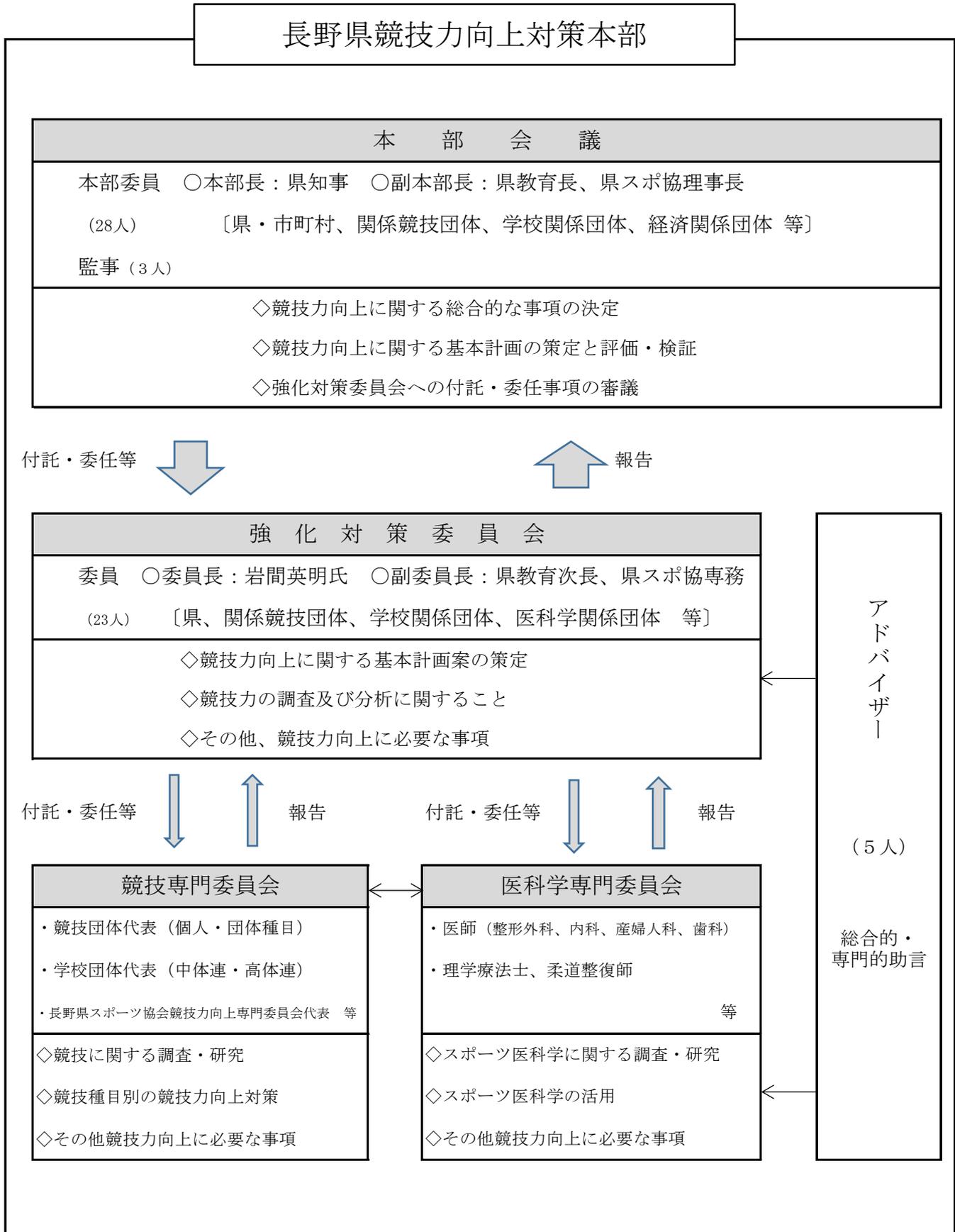
[R3当初予算額:220,000千円（ふるさと信州寄附金基金:2,355千円、一般財源:217,645千円）]

「長野県競技力向上対策本部」について

1 目的

2028年の第82回国民スポーツ大会に向けた競技力向上を図るとともに、大会終了後も更なる本県スポーツの発展に寄与することを目的に「長野県競技力向上対策本部」を設置する。

2 組織



3 設置年月日

平成30年 (2018年) 6月6日

令和4年度 長野県競技力向上対策本部 委員名簿

(順不同、敬称略)

役職名	所 属 機 関 ・ 団 体 役 職 名			
本部長	県	長野県知事	阿 部 守 一	
副本部長	県教委	長野県教育委員会教育長	内 堀 繁 利	
	スポーツ	長野県スポーツ協会理事長	林 泰 章	
委 員	県議会	長野県議会環境文教委員会委員長	寺 沢 功 希	
	市町村	長野県市長会会長	牛 越 徹	
		長野県町村会会長	羽 田 健 一 郎	
		長野県市町村教育委員会連絡協議会会長	近 藤 守	
	スポーツ	長野県スポーツ推進審議会会長 松本大学人間健康学部 スポーツ健康学科教授	岩 間 英 明	
		長野県スポーツ協会副会長	萩 原 清	
		長野県スポーツ協会 競技力向上専門委員会委員長	内 山 了 治	
		長野県スポーツ協会 体力向上・スポーツ医科学専門委員会委員長 長野県JSPO公認スポーツドクター協議会会長	加 藤 光 朗	
		長野県スポーツ推進委員協議会会長	松 井 元	
		長野県総合型クラブ連絡協議会会長	小 崎 陽 一 郎	
		長野県スポーツ少年団本部長	清 水 一 人	
		オリンピック(陸上)	塚 原 直 貴	
		オリンピック(バレーボール)	野 口 京 子	
		経済団体	長野県経営者協会会長	碓 井 稔
	長野県中小企業団体中央会会長		黒 岩 清	
	長野県商工会議所連合会会長		北 村 正 博	
	長野県商工会連合会会長		間 瀬 一 朗	
	学校関係	長野県小学校長会会長	高 野 直 樹	
		長野県中学校長会会長	北 村 康 彦	
		長野県高等学校長会会長	駒 瀬 隆	
		長野県私立中学高等学校協会会長	安 藤 善 二	
		長野県中学校体育連盟会長	齋 藤 毅	
		長野県高等学校体育連盟会長	桑 原 俊 樹	
		信州大学教育学部長	村 松 浩 幸	
		松本大学副学長	等 々 力 賢 治	
	監 事	県	長野県会計管理者兼会計局長	鈴 木 英 昭
		市町村	長野県市長会事務局長	青 木 弘
			長野県町村会事務局長	原 山 幸 治

〔委員28名、監事3名〕

令和4年度 長野県競技力向上対策本部強化対策委員会 委員名簿

(順不同、敬称略)

役職名	所 属 機 関 ・ 団 体 役 職 名		
委員長	スポーツ	長野県スポーツ推進審議会会長 松本大学人間健康学部スポーツ健康学科教授	岩 間 英 明
副委員長	県教委	長野県教育委員会教育次長	尾 島 信 久
	スポーツ	長野県スポーツ協会専務理事	茅 野 繁 巳
委 員	スポーツ	長野県スポーツ協会 競技力向上専門委員会委員長	内 山 了 治
		長野県スポーツ協会 体力向上・スポーツ医科学専門委員会委員長 長野県JSPO公認スポーツドクター協議会会長	加 藤 光 朗
		長野県スポーツ推進委員協議会副会長	宮 澤 俊 弘
		長野県総合型クラブ連絡協議会会長	小 崎 陽 一 郎
		長野県スポーツ少年団副本部長	宮 下 省 二
		オリンピック(バレーボール)	鬼 頭 有 紀 子
		オリンピック(水泳)	金 藤 理 絵
	プロスポーツ チーム代表	松本山雅 代表取締役社長	神 田 文 之
	学校関係	長野県中学校体育連盟理事長	小 笠 原 重 光
		長野県中学校体育連盟副理事長	横 山 英 志
		長野県高等学校体育連盟理事長	島 崎 剛
		長野県高等学校体育連盟副理事長	矢 野 清 隆
		信州大学教育学部スポーツ科学教育学科准教授	藤 田 育 郎
		松本大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授	齊 藤 茂
	競技 専門委員会 代表	(個人種目) 長野県空手道連盟	中 村 宣 之
		(個人種目) 長野陸上競技協会	横 打 史 雄
		(団体種目) 長野県ソフトボール協会	荒 井 政 弘
		(団体種目) 長野県バスケットボール協会	中 村 聖 美
	医科学 専門委員会 代表	長野県JSPO公認スポーツドクター協議会	倉 石 修 吾
		JSPO公認アスレティックトレーナー長野県協議会	関 賢 一

〔23名〕

「長野県競技力向上基本計画」の概要

長野県競技力向上対策本部（H31. 3. 13 策定）

（R3. 7. 16 改定）

計画の位置付け

「2028年の第82回国民スポーツ大会の目標達成」と「大会終了後の持続可能な競技スポーツの振興」を図るための具体的な取組みを示した指針。

計画の対象期間と目標

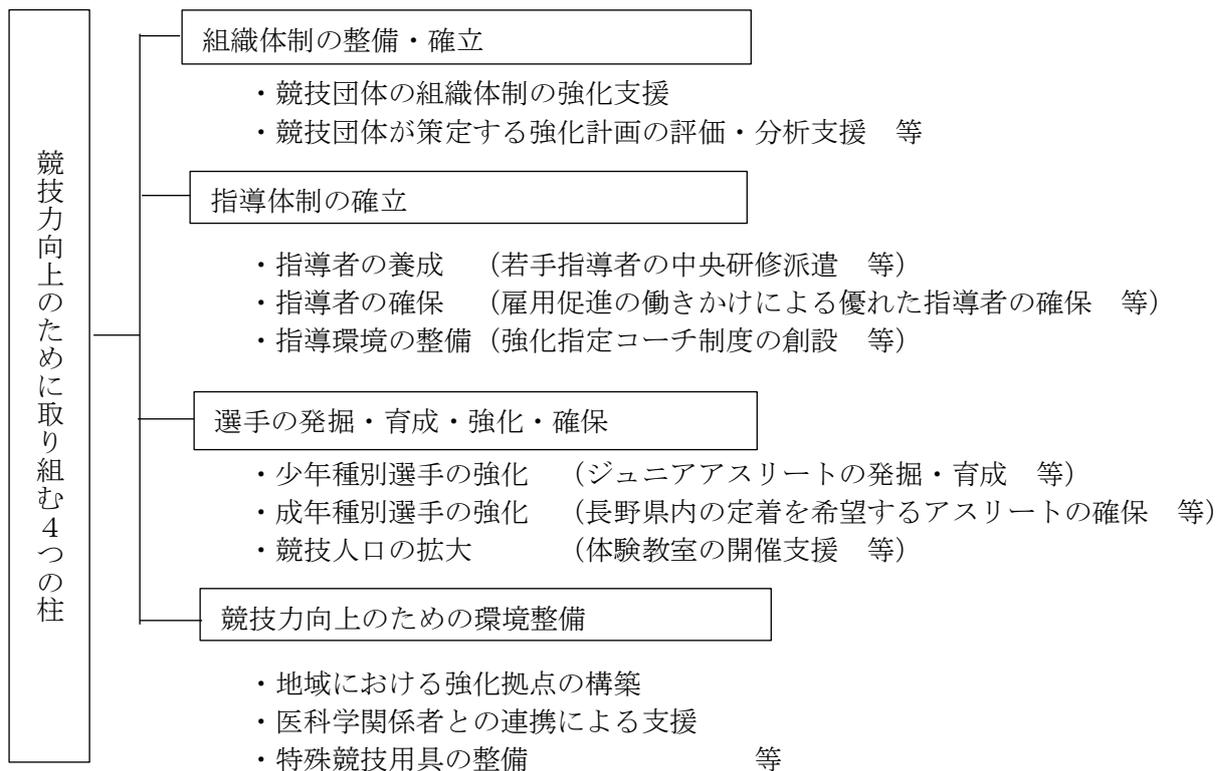
■ 2028年の第82回国民スポーツ大会の目標

「天皇杯（男女総合1位）と皇后杯（女子総合1位）」の獲得

■ 対象期間ごとの目標

期 間		目 標	
		男女総合（天皇杯順位）	女子総合（皇后杯順位）
育成期	2019年～2021年	12位以内	10位以内
充実期	2022年～2025年	10位以内	9位以内
躍進期	2026年	8位以内	8位以内
	2027年	5位以内	5位以内
	2028年	天皇杯獲得	皇后杯獲得
定着期	2029年以降	10位以内	10位以内

具体的な取組み（競技力向上対策本部が主体となって行う主な取組み）



令和4年度 事業計画

1 会議の開催

- (1) 本部会議の開催
- (2) 強化対策委員会の開催
- (3) 専門委員会の開催 競技・医科学専門委員会（年5回程度）

2 競技力向上対策事業

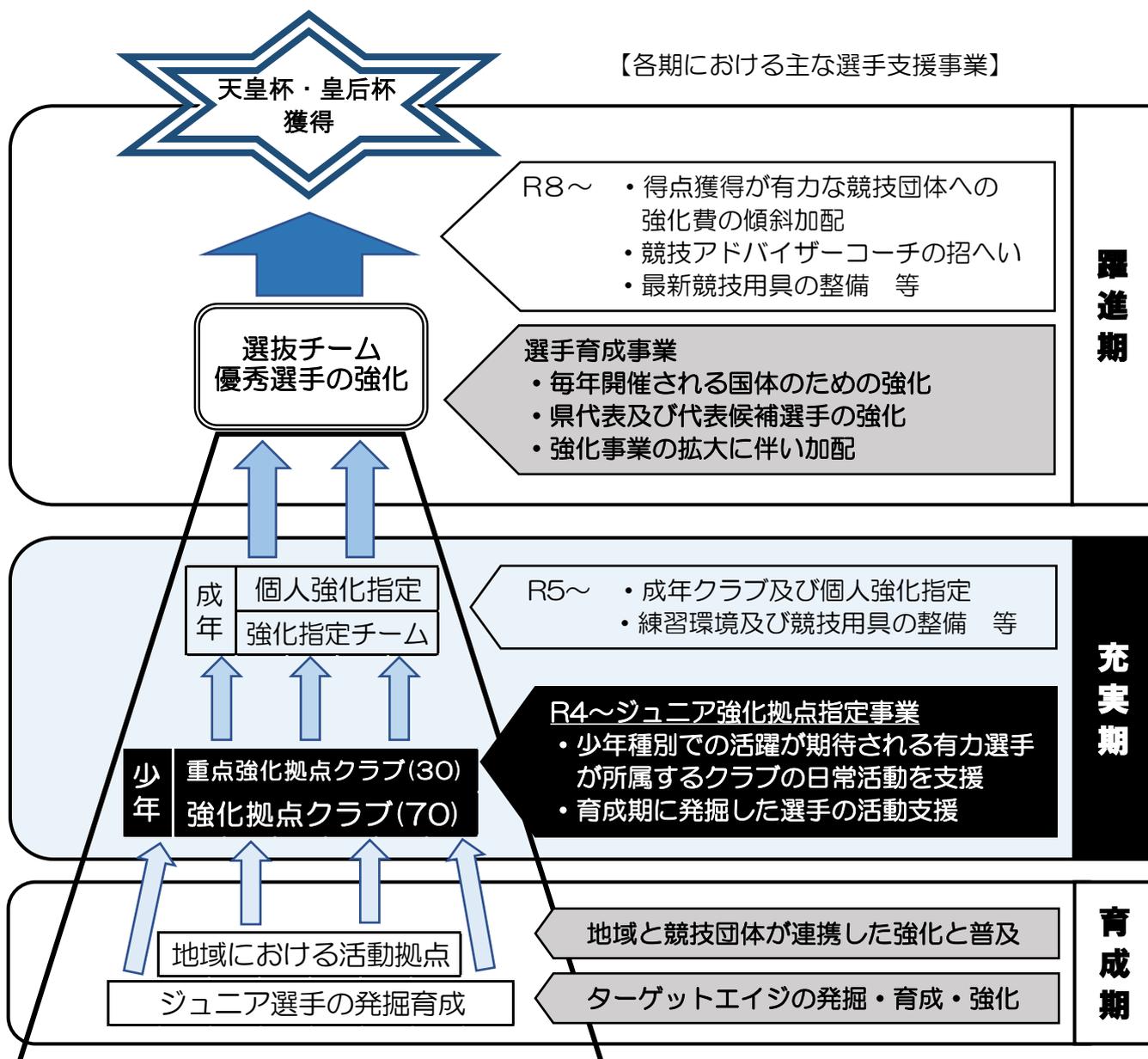
	項目	目的	内容
組織体制の整備・確立	競技団体の組織マネジメント力の強化	・競技団体の機能的な組織体制の整備や、組織マネジメント力の強化。	○ヒアリングや活動場所等への訪問により状況把握をし、強化活動を支援。 ○競技団体間や関係団体との連携による強化活動を支援。 ○競技団体の今年度強化計画策定及び次年度へ向けた分析等の支援。 ○先催県（先進県）や開催後県等への視察や調査。
	(1)指導者研修派遣事業	・競技団体の強化の中心となり活躍することが見込まれる指導者の養成。	○競技団体から推薦された指導者を中央競技団体等主催の各種研修会へ派遣する際の参加料や旅費等を支援。
指導体制の確立	(2)公認指導者資格取得支援事業	・国体で各種別の監督やコーチ等となる指導者の養成。	○公認指導者資格取得に要する講座へ指導者を派遣する際の受講料や旅費等を支援。
	(1)スポーツ体験教室 → 競技力向上のための環境整備 (2)地域におけるスポーツ活動拠点構築事業へ統合	・運動遊びから競技スポーツに取り組むきっかけづくりの機会を提供。	○各競技団体指導者による体験教室を開催。
選手の発掘・育成・強化・確保	(2)NAGANOスポーツ☆キラキラっ子育成プロジェクト	・本県で開催する国スポ時や世界で活躍できるアスリートを発掘・育成。	○育成プログラム ・身体能力育成プログラム ・知的能力育成プログラム ・栄養学習プログラム ・競技体験選択プログラム ・保護者プログラム ※新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら開催方法等は検討
	(3)トランスファー(競技種目転向)事業 → 競技力向上のための環境整備 (2)地域におけるスポーツ活動拠点構築事業へ統合	・マイナー競技を知る機会を提供し、選手確保と競技力向上を図る。	○新たな種目への挑戦を考える小中高生を対象に、競技の紹介や体験会等を実施。
	④(新) (4)ジュニア強化拠点クラブ指定事業 → R4から予算化	・有望なジュニア競技者を育成しているクラブ(部活)等を強化指定することにより、活躍できる人材を育成するとともに地域におけるスポーツ活動の中心拠点としての役割を担う。	○有望なジュニア競技者を育成しているクラブ(部活)等を強化指定し、日常的な強化活動の経費を支援。
	(5)成年選手の確保・支援	・働きながら競技継続を願うアスリートの支援。	○スポーツによる元気な信州創出事業「アスリート就職支援事業」の活用による、企業と選手のマッチング。
	(1)特殊競技用具整備事業	・競技団体が購入することが困難な高額の特殊競技用具を整備し、競技力向上につなげる。	○競技団体へ特殊競技用具を貸出。
競技力向上のための環境整備	(2)地域におけるスポーツ活動拠点構築事業	・競技団体が中心となり、地域で幅広い年齢層の競技者が一緒に活動することで、スポーツ環境の確保と競技人口拡大、競技力向上につなげる。	○新しい強化拠点体制の構築。活動経費の補助。
	④(抜) (3)長野県スポーツ医科学ネットワーク構築事業	・医科学の各分野の専門家や競技団体が連携し、選手が医科学サポートを効果的・効率的に受けられるネットワークを構築する。	○医科学の専門知識や技術を持つエキスパートが様々な現場においてサービスを展開。 ○動作解析による強化システムの研究

新 ジュニア強化拠点クラブ指定事業

スポーツ課

1 目的 本県で開催される第82回国民スポーツ大会で活躍できる人材を育成するため有望なジュニア競技者を育成しているクラブ（学校）等を強化指定するとともに日常的な強化活動を支援する。

2 事業概要





1 目的

令和10年に本県で開催される長野国体に向け、競技団体が県内各地で医科学的なサポートを受けられるような体制構築と動作解析による強化を研究する。

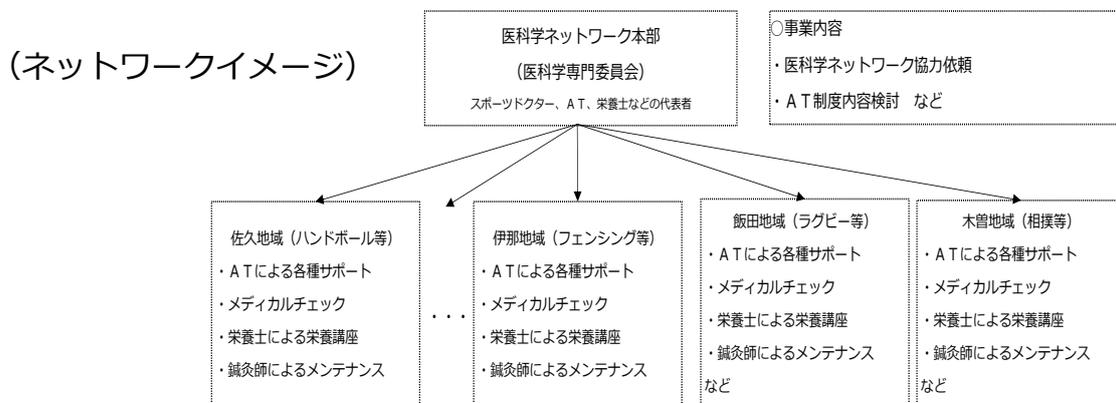
2 現状と課題

- ✓ 他都道府県では、医科学的なサポートとして、医科学的センターを設置（22/46）
 - ✓ 当県では、人的支援による医科学的なサポートに特化（長野県競技力向上基本計画に記載）
 - ✓ 面積が広い当県では、人的支援を1か所で行うのは不十分
- 県内各地で医科学的なサポートを受けられる体制を構築し、競技団体を支援
選手のパフォーマンス向上のために動作解析による強化を研究する

3 事業内容

(1) ネットワーク構築事業

競技力向上対策本部には医科学専門委員会が設置
同委員会を本部とし、県内各地で医科学的なサポートを実施



(2) 長野県版アスレティックトレーナー（AT）養成事業

医科学的なサポートに中心的な役割を担うアスレティックトレーナーの育成が必要
日本スポーツ協会公認のアスレティックトレーナーは、難易度が高く、養成が困難
→「長野県版アスレティックトレーナー」初級試験実施と上級カリキュラムを作成

<アスレティックトレーナー（公財）日本スポーツ協会公認資格>
スポーツドクターおよびコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーションおよびコンディショニング等にあたる。

(3) **新** 動作解析による強化システムの構築

部局連携による県有財産を活用した強化システム構築に向けたモデルケース研究